

鵜沼三地区のトレードマークです



『うっぴい』



第 92 号 平成 31 年 3 月 15 日

編集・発行 鵜沼第三地区社会福祉協議会

社協のマークです



福祉の心を育てよう

## 今年度を振り返って…

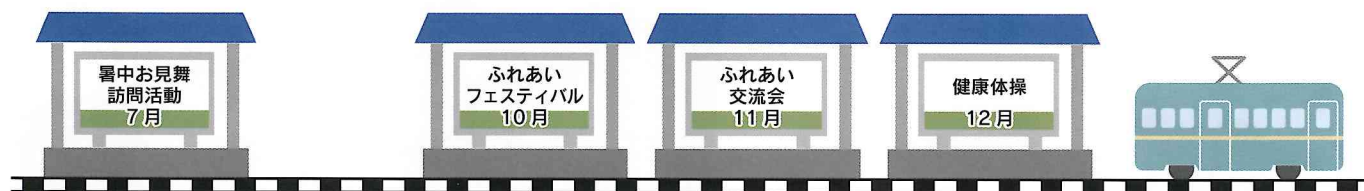
鵜沼第三地区社会福祉協議会長 保浦 健治

今年度のはじめに私は、「一人ひとりの和のつながりがあって、施策をやり遂げること、より多くの方が参加できる」を抱負にもち一年間努めてきました。

この一年間は全国の各地に災害をもたらし、振り返れば夏の猛暑、西日本豪雨、台風、大阪や北海道の地震と、年末の今年の漢字に現すように“災”が印象に残る一年でした。

そんな“災”のなか、スーパーボランティアや各所での社会福祉協議会による復旧活動の活躍が報じられ、身の引き締まる思いがしました。幸いに私たちの地区においては、大きな災害にはならずとも台風の際には、あちらこちらに倒木が見られ一大事になったかもと、肝を冷やしたことを思い出します。

さて、「一人ひとりの和のつながり」については、おおむね計画どおりに施策の展開ができ、いろいろな場面で見なさまの元気な姿が見られたことが何よりと感じています。みなさまの笑顔に感謝し一年間のしめくくりとさせていただきます。



## 暑中お見舞い訪問活動

友愛委員会では、一人暮らしの方、高齢者世帯や障がいをお持ちの方などに「暑中お見舞い訪問活動」を実施しました。

訪問の際には、健康状態や困りごとの聞き取りなど、地域コミュニケーションの活性化に一役買うことができました。

民生委員児童委員は、日常の地域活動のなかから、一人暮らしの方、高齢者世帯や障がいをお持ちの方などを把握し、今年度の「暑中お見舞い訪問活動」の訪問者宅をとりまとめました。

また、鵜沼三地区社会福祉協議会の施策に協力し活動をともしているボランティアグループは、7月25日より手作りクッキー約100食分を製作し、26日から始まる訪問活動に備えていました。

7月25日、26日の両日、民生委員児童委員は、閉じこもりがちで一人暮らしの方には日常生活に必要なゴミ袋を、高齢者世帯や障がいをお持ちの方などには手作りクッキーを進呈し一人ひとりに健康状態などの声を掛けながら延べ269名の方々とコミュニケーションを深めることができました。

特に今年の夏は、「酷暑」ともいわれた厳しい暑さだったこともあり、健康管理に心配が尽きなかった時期にタイムリーな訪問であったと多くの方に喜んでいただきました。



ボランティアグループによる手作りクッキークッキーを袋につめてお届け

### 絵手紙教室

ヘタでいい ヘタがいい



親子で身近な素材を  
絵に描いて

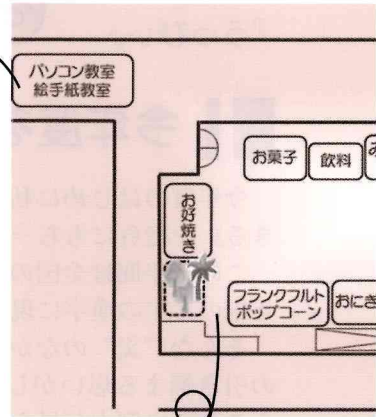


### パソコン教室

クリック ドラック ドロップ 薬局でアメ?



「名前を付けて保存」どこ?どこをクリック??



## ふれあい フェスティバル

Hureai festival of HEISEI last

ふれあい委員会は、10月21日(日)鶴沼第三小学校を会場に鶴三地区の各自治会が出店する模擬店ほか、絵手紙教室、パソコン教室のカルチャー教室を開講し、午後からはふれあいコンサートを開催。ふれあいフェスティバルは3世代を超えた約300名の方が来場し秋空の下で楽しい一日を過ごしました。

絵手紙教室では、野菜や落ち葉など身近な素材を手紙にして、親子で楽しむ微笑まじきが見られ、パソコン教室は大きなスクリーンを使った講師の説明を聞きながらパソコンと向き合いエクセルなどを学ぶことができました。

ふれあいコンサートは、地元のうぬま第一幼稚園鼓笛隊と緑陽中学校吹奏楽部が演奏し、フェスティバル一番の賑わいとなりました。

模擬店関係者、うぬま第一幼稚園の園児・先生、緑陽中学校のみなさんお疲れさまでした。



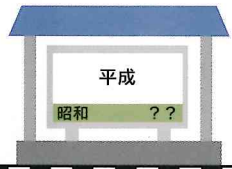
模擬店を楽しむ  
武藤容治衆議院議員



お好焼き店は大忙し



大勢のお客さんで賑わう模擬店



## ふれあい交流会

友愛委員会は、11月4日(日)鶴沼東福祉センターにおいて、「ふれあい交流会」行いました。

この交流会は、75才以上のお一人暮らしの方が閉じこもりがちにならないよう、民生委員児童委員が一人ひとりに参加の声をかけ、約70名が一同に介した交流の場を設けました。

また、交流会では、「ほっとい亭とり我楽」さん落語で大いに笑い、「大垣くる子」さんと一緒に歌ったり、南京玉すだれを行いました。みなさんの『しだれ柳』お見事でした。



落語  
ほっとい亭とり我楽



パレード  
大垣くる子

昼食では、温かい豚汁を御代わりされる方も多く、豚汁をつくられたボランティアグループの皆さんに感謝される姿も。元気で明るい一日を過ごすことができました。

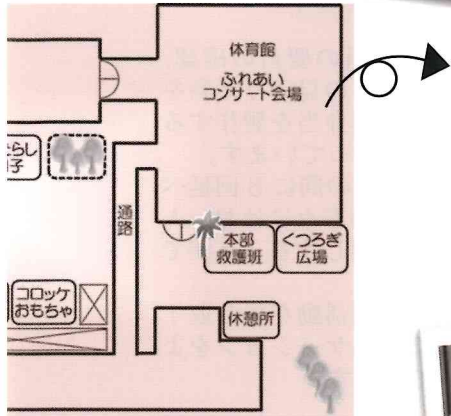
## ふれあいコンサート うぬま第一幼稚園鼓笛隊

♪ 空をこえて ラララ 星のかなた ゆくぞアトム ♪



ヤア!  
ヤア!

おかあさん、おとうさん、おばあちゃん、  
おじいちゃん、会場から溢れんばかりの大  
応援団を前に演奏する鼓笛隊、  
演奏が終われば、お菓子をもらって…



## ふれあいコンサート 緑陽中学校吹奏楽部

8年連続県大会金賞、東海大会で数々の受賞



演歌、アニソン、J-POP・・・  
幅広いジャンルをみごとに・・・  
さすが **RYOKUYO BAND**  
フィナーレは JAZZ の名曲 Sing Sing Sing



## 健康体操

総務委員会では、「健康教室・健康体操」を12月15日(土)に鵜沼東福祉センターで行いました。

午前中の健康体操は、文室講師を招いて、テレビを見ながらでもできる体操を参加者全員が、1時間行い、心地よい汗をかくことができました。



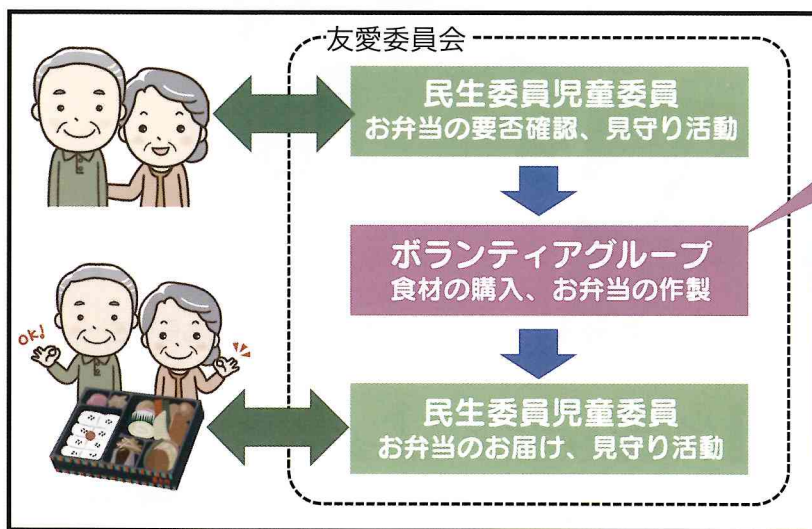
ふむろ 文室講師



けいだいでいしょうしょう ほとふきていごじゅけい  
昼食後は、経済亭勝笑さんの漫談と鳩吹亭小寿慶さんの落語を楽しみました。  
笑いの健康効果は、ナチュラルキラー細胞を活性化させ免疫力がアップする  
ほか血行促進にも効果があるといわれています。  
幸せだから笑う、笑うから幸せになる。健康っていいですね。

## 友愛訪問配食サービス 食を通じた生活支援

友愛委員会では、お一人暮らしやご高齢の方々の健康状況や困りごとなどの声を定期的に受け止められるよう、お弁当をお届けする「友愛訪問配食サービス」を継続的に行っています。



配食サービスの概要

### ボランティアグループの会

沙羅の会（鵜沼山崎町）  
あやめ会（鵜沼東町）  
あゆみの会（新鵜沼台）  
かすみの会（鵜沼台）

配食サービスは、お弁当の要否の確認、お届け、及び高齢者の方々の見守り活動を行う民生委員児童委員とお弁当を製作するボランティアグループが行っています。

今年度は、5月から2月の間に8回延べ500食をつくり、高齢者の方々にはお一人につき年4回お弁当をお渡しすることができました。

このように定期的な訪問活動を繰り返すことにより、地域コミュニケーションをより密にするよう努めています。

お年寄りにやさしい、薄味に気配りしています。  
肉や魚、野菜もバランスよく！  
くだもの、おやつもついています。  
食材は新鮮でお安く、主婦の知恵と工夫で・・・

おいしく食べていただければ・・・  
苦労も工夫もやりがいになります。



### 編集後記

今年度、広報委員を務めるにあたり、6月発行の広報紙をなんとか終え、10月以降の大きなイベントをまえにカメラが壊れてしまいメーカーに問い合わせをしたら「古い機種で修理はできない。新しいのを買ってください。」とあっけらかんの返事。

元来、カメラに疎く興味も薄かったのですが、一眼レフはカメラの素人でもあこがれの一品。これをきっかけに一眼レフを購入。役員をしていなかったらスマホで十分と思っていたら、役員やってよかったのかなと思うこのごろ。

1月5日付けの中日新聞に「町内会をどう思う？」との記事がありました。社会福祉協議会も自治会も会員の会費で運営しており、町内会不要の考えは「金銭面や行事の負担、煩わしい人間関係はつくりたくない」との意見、一方「一人では生きていけないし災害時は近所のつながりが大事、豊かな暮らしのための適切なコスト」と賛否両論があります。私も単身赴任が長かったせいか地域のつながりはほとんどなかったのですが、役員に携わってから、以前は面識がなかった方からも声を掛けられるようになり、心地よさを感じています。多くの方がいろいろな場面で社会福祉に活躍していることを知っていただければと広報紙の原稿と向き合っています。

社会福祉協議会を一年間務めたことは、沢山の方々に教えていただき助けられ、感謝するとともに、知り合いが多くなり、いろいろな楽しみ方を覚えた気がしています。（広報委員 H）